



# 三条北ロータリークラブ週報

国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド 第2560地区ガバナー 中條耕二

会長 小林 満  
幹事 本間重満  
SAA 米山キクエ

例会日：火曜日 12:30 ~ 13:30

例会場：三条ロイヤルホテル TEL34-8111 FAX 34-8114

事務局：三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内 TEL 35-7160 FAX 0256-35-7488

ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org> メールアドレス [north@sanjo-nrc.org](mailto:north@sanjo-nrc.org)

本日の出席：64名中45名

先々週の出席率：64名中52名 81.25%

前年同期 85.25%

行 事：「識字率向上月間」

卓話 第2560地区

識字率向上コーディネーター

小山楯夫様（新潟RC）

先週のメイクアップ：

3月1日三条東RCへ 淵岡 茂さん

2日社会奉仕委員会 西村 護さん

堀川正幸さん、斎藤 正さん、小林 満さん

4日米山奨学生歓送会 中條耕二さん

小林繁男さん、丸山 勝さん、山本 賢さん

本日のビジター：

三条RCより 加藤紋次郎さん

オブザーバー：山岸早瀬さん（R財団親善奨学生）



三条市内ではこの冬まったく雪のないまま、弥生3月になりました。

未曾有の暖冬で北クラブ会員事業所でも冬物商品がデッドストックになって困っておられるところもあり、

一概に雪が降らなくて良かったなどと軽々しく言っていない今日この頃です。

3月は識字率向上月間です。本日は新潟RCの地区識字率向上コーディネーターでいらっしゃる小山楯夫さんから例会にお越しいただき、卓話を頂戴いたします。

識字率向上については私がとやかく申すのは、まさに釈迦に説法でして小山コーディネーターにゆだねさせて頂きたいと思っております。

小山コーディネーターは月信3月号のなかでも識字率向上についていろいろ述べておられますが、識字者間の情報伝達についても次のように述べておられます。

「比較的高齢の方々に未だITアレルギーが少なくありません。最近ではIT化の進歩により、様々な情報をインターネットや電子メールなどの伝達手



2007-08年RIテーマ

段によって、日常的に行なわれています。これらの操作方法を少し学ぶことで素早く、情報を伝えたり得ることが可能になるのです。」

私の年度で北クラブのホームページをリニューアルいたしました。次年度、山中年度から週報を事務局の竹ノ内さんが作成します。今までのように翌週の例会時に週報を配布いたしますが、しばらくの間はカラーではなく、白黒になります。ご理解をお願いしたいと思います。竹ノ内さんが最近作った次年度からの週報のサンプルと私が自分のパソコンでプリントアウトしたものをお返しいたしますのでご覧になってみて下さい。

一週間待たずとも瞬時に情報が得られます。次年度から私のように自分のパソコンからプリントアウトするとの事由で事務局の発行する週報不要の方は申し出てください。経費節減にもなりますし、事務局サイトでは写真を含む情報ストック管理面に

おいても素晴らしい成果が期待できると確信しております。リンク先をクリックするだけで他クラブの週報やロータリーの源流、ロータリーの友、地区の情報なども簡単に閲覧可能です。

### 幹事報告：本 間（重）幹事

- ・津南RCより  
創立30周年記念式典のご案内  
日時 平成19年5月20日(日)10:30~  
会場 グリーンピア津南
- ・(株)ソデックスより  
三条市成人式 新成人応援イベント「Twenty's Café」協賛のお願い
- ・地区次年度クラブ奉仕委員長より  
クラブ奉仕委員会開催のご案内  
期日 2007年3月30日(金)16:00~  
会場 ホテルオークラ新潟

## ニコニコボックス：6日現在累計948,000円

早川 瀧雄君

3月は識字率向上月間です。新潟クラブの小山様ようこそおいでくださいました。卓話宜しく願いします。

小山 楯夫君(新潟RC)

本日はつたないスピーチをさせていただきます。

斎藤 正君

識字率向上月間にちなんで新潟からお越し頂いた小山コーディネーターに感謝申し上げます。

大野 新吉君

本日は識字率向上月間で新潟より昨日と打って変わった寒い道足の悪い中、講師として小山様お越し下さいまして誠にありがとうございました。前回横山パストガバナーとご同伴の折、本成寺見学やら、お酒が入った楽しいひととき大変ありがとうございました。

笹原 壯玄君

春の若返りか？こう暖かさが早く訪れると小雪も情緒的に感じ冬国のノスタルジーをおぼえますね、私ばかりかな？早退の言い訳を考えて。

丸山 勝君

先週の金土と八方尾根にスキーに行ってきました。年には勝てず足はパンパンです。天気もよく

山が綺麗でした。

星野 義男君

小山楯夫様の卓話に感謝して！！

横田加代子君

青柳さんの娘さんの結婚式には感動させられました。

米山 忠俊君

BOX委員長と目があつたのでBOXに協力です。

佐藤 義英君 ボックスに協力！！

駒形 実君 BOXに協力

佐藤 文夫君 //

山崎 勲君 //

堀川 正幸君 //

\* 小山楯夫様からお車代をそっくりご寄付頂きました。

\* 2月のコメント賞は堀川正幸会員です。



小山楯夫様（新潟 RC）

## 識字率向上月間に因んで



1997-98 年度のキンロス会長年度から、7 月を識字率向上月間に指定しましたが、RI 理事会では今年度から 3 月に変更しました。

我が国でも、そして

もっと福祉が進んだ北欧の国にも弱者は居ります。

衣食住がある程度保障され、医療のサービスも受けられるのです。

然し、地球を一つのコミュニティと見たとき、この世に生まれ、母親の顔も認識出来ない内に死んでゆく乳児達。もし、運よく育っても水も食料も無く、医療も受けられないで死んでいく子供達。水汲みみの為学校へも行けない子供達が居るのです。

RI が推奨する識字率向上プロジェクトは我々に関係ない事でしょうか？

RI は地球規模で問題点を検討しています。世界中のロータリーからプロジェクトに参加を求めて、これらの問題を解決しようと考えております。

各ロータリー・クラブは、地域社会特有のニーズに沿った奉仕活動を、自由に選ぶことができます。

とはいえ、世界中のロータリー・クラブは、多くの共通の問題にも取り組んでいます。保健、飢餓追放、貧困、識字率向上、エイズ予防、国際理解・親善などです。

RI は何故識字率向上を積極的に推進するようによ要請するのでしょうか。

ロータリーは非識字者の存在が貧困をはじめとする諸問題の根源であると考えているのです。

地球上に非識字者が約 10 億人。その数は成人の 25%に当たり、その 75%はアジア人であり、非識字者全体の 66%(2/3)は女性です。毎年のように、RI からの推奨プロジェクトに上げられていますが、非識字者の悲惨な状況を身近で見ることがない日本では、このプロジェクトに関心を持つ人は少ないのです。

しかし先進国でも情報非識字が問題になっていません。すなわち、インターネットやメールができないから情報が伝わらないというケースです。私たちの周りでも、中国残留孤児、外国人労働者など識字の援助を必要としている人たちがいるのではないのでしょうか。また、比較的高齢の方々には未だ IT アレルギーが少なくありません。最近では IT 化の進歩により、様々な情報をインターネットや電子メールなどの伝達手段によって、日常的に行われています。

これらの操作方法を少し学ぶことで素早く、正確に情報を伝えたり、得たりすることが可能になります。この便利な情報伝達手段を利用できずに諦めている会員はおられないでしょうか。

IT が使えなくても、他の方法で情報伝達はできますから、あまり大きなハンディにはなりません。字が読み書きできなかつたら全く情報は伝わらないのですから、もっと関心を持つ必要があると思うのです。

本のある地区(2680 地区、兵庫)では数年前カンボジアにおいて義足プロジェクトを実施しました。その報告によると、国境地帯の地雷原に立てられている立看板の文字が読めないために、毎日何人もの子供たちが足を吹き飛ばされているそうです。

非識字者が開発途上国の女性に多いことも、数々の問題を生みます。教育が受けられないことや正しい知識が得られないために、計画出産や性病予防がままならず、これが人口問題やエイズ撲滅の大きな障害になっています。先進国ならば、葉書一枚で、集団接種の会場に皆を集めることが可能ですが、字の読めない母親に葉書を送っても何の効果もありません。識字率向上運動は、ポリオ・プラス以前の重要なプログラムなのです。

非識字者は就職の機会に恵まれません。それがさらに貧困を招きます。貧困が故に、1 億 3 千万に上る子供たちは就学の機会が与えられず、非識字と貧困は悲惨な悪循環をしているのです。

識字率向上の恩恵は、自尊心を高め、職に就く上で役立つことにあるのです。安定した職業につけば飢餓、貧困、疾病を征服できるかも知れません。

国連統計のデータから推定によると、世界の人口は 65 億 7606 万人だった地球人口が、2025 年には 78 億に、2050 年には 93 億になることが予測され

ています。先進国の占める人口は約 11 億でずっと固定していますから、開発途上国で人口爆発が起こるといことです。今の開発途上国や発展途上国の中から 50 年後には先進国になる国があるにもかかわらず、先進国の人口は増えません。それは、先進国の出生率が低いからで、先進国の平均の出生率は 2 名以下です。我が国では平成 15 年は 1.29 人まで下がり、今年は 1.50 人まで戻してはいるものの、開発途上国は地域的なばらつきはありますが 5 名から 7 名とも言われています。

出生率と女性の識字率とは密接な関係があり、女性の識字率が高い国ほど出生率が低いという結果が出ています。従って人口爆発を抑える最も効果的な方法は、開発途上国の女性の識字率を高めて、バス・コントロールによって計画出産をすることなのです。

識字率向上のプロジェクトが進展しなければ、先進国と開発途上国間の貧富の差が広がります。そして、やがて人口爆発によって地球上の資源(飲料水・燃料・食料など)は枯渇するでしょう。私たちは、子孫のために強い危機感を抱かなければなりません。

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」を提唱したアーサー・F・シェルドンは 1913 年、第 4 回国際ロータリークラブ連合会年次大会のスピーチで、「教育とは知識を教えることではなく、その人が持っている能力を引き出すことである」と述べて

います。識字能力は誰もが潜在的に持っているものです。

戦争、貧困、その他の事情によってその能力を引き出せずにいる人たちを助ける活動こそ、ロータリーとして最もふさわしい活動の一つではないでしょうか。

RI が積極的に推し進め、効果をあげている識字率向上プロジェクトは、後から来る人々のための道を照らす意味を込めて、ライトハウス・プロジェクトと呼ばれています。このプログラムの中心になるのは、オーストラリアのクイズランド大学教授であり、パスト・ガバナーでもあるリチャード・ウオーカーが開発した語学力集中研修講座 (CLE) です。グループ単位で、簡単なストーリーを喋り、それを書き、次第に難しいものに発展していく方法です。児童、初心者、上級者向けにその内容を変えながら、話し言葉、書き言葉さらには文法にまで発展していく手法です。

この CLE は 1987 年から、ロータリー財団の人的補助金を受けてタイで行われ、大きな成功を収めたので、その後、世界各地の小学校、非公式教育現場、ストリート・チルドレン対策等で、識字率向上プロジェクトの基本的な授業方法として採用されています。

このプロジェクトは、ロータリー財団の人的補助金などを活用する為に、地区とクラブが計画を立ててロータリー財団へ申請します。詳しくは地区ロータリー財団委員会にお問い合わせ下さい

## 第 9 回理事会

開催月日：平成 19 年 3 月 6 日 (火) 11:30 ~ 12:30

開催場所：三条ロイヤルホテル

出席者：小林 (満)、斎藤 (正)、山中、瀧岡、佐藤 (啓)、米山 (キ)、山本 阿部、外山 (裕)  
早川、小林 (繁)、西村、駒形 出席者 13 / 14 (委任状 2)

- 協議事項：1. 事務局賃借料の件 承認  
205 号室に移転後も当面の間現在の金額
2. 家族健康ウォーク参加人数の件 承認  
次週、出欠表を回し参加を呼びかける (GB 事務所より 30 人要請)
3. 新成人応援イベント協賛依頼の件 承認  
10,000 円を協賛する
4. 4 月観桜例会の件 承認  
4 / 10 大新潟 CC 三条コース  
詳細は親睦活動委員会に一任